

Ovid Web Gateway Tutorial

Revised June 2005

For Gateway Refresh

暫定版



O V I D

Ovid Technologies
Japan Office/MS
japan@ovid.com

Visit <http://www.ovid.jp/site/index.html> for more information in Japanese.

Ovid Web Gateway

Login	Ovid Online に、Login(開始)します。-----	1
↓		
データベース選択	契約しているデータベースが表示されます。----- 利用したいデータベースを選択します。	1
↓		
検索	基本検索画面----- 入力規則----- アイコンの説明----- 主題からの検索----- 統制語検索----- 自由語検索----- フィールドを指定した検索 タイトルからの検索----- 著者名検索----- 雑誌名検索----- その他のフィールドからの検索-----	2 3 3 5 5 8 12 13 14 15
↓		
絞り込み	検索結果をさらに様々な条件で絞り込みます。-----	16
↓		
検索結果の出力	検索結果の表示(Citation List)----- リンクタイプ ----- 画面表示、印刷、保存、Email します。-----	17 18 20
↓		
検索式の保存・実行	検索式の保存----- Auto Alert とは----- 保存検索式の実行・編集・内容表示・削除-----	21 23 25
↓		
データベース変更	データベースを変更します。----- 今まで実行した検索を変更するデータベースで再実行できます。	28
↓		
Logoff	Logoff(終了)します。-----	28
付録		
トランケーションとワイルドカード-----		29
論理演算子(掛け合わせ)と位置演算子-----		29
コマンド方式の検索テクニック-----		30

Login

WWW ブラウザを起動し、URL <http://gateway.ovid.com> を指定すると、「Login 画面」が表示されます。

IP 接続の場合は、この画面は表示されません。

< Login 画面 >



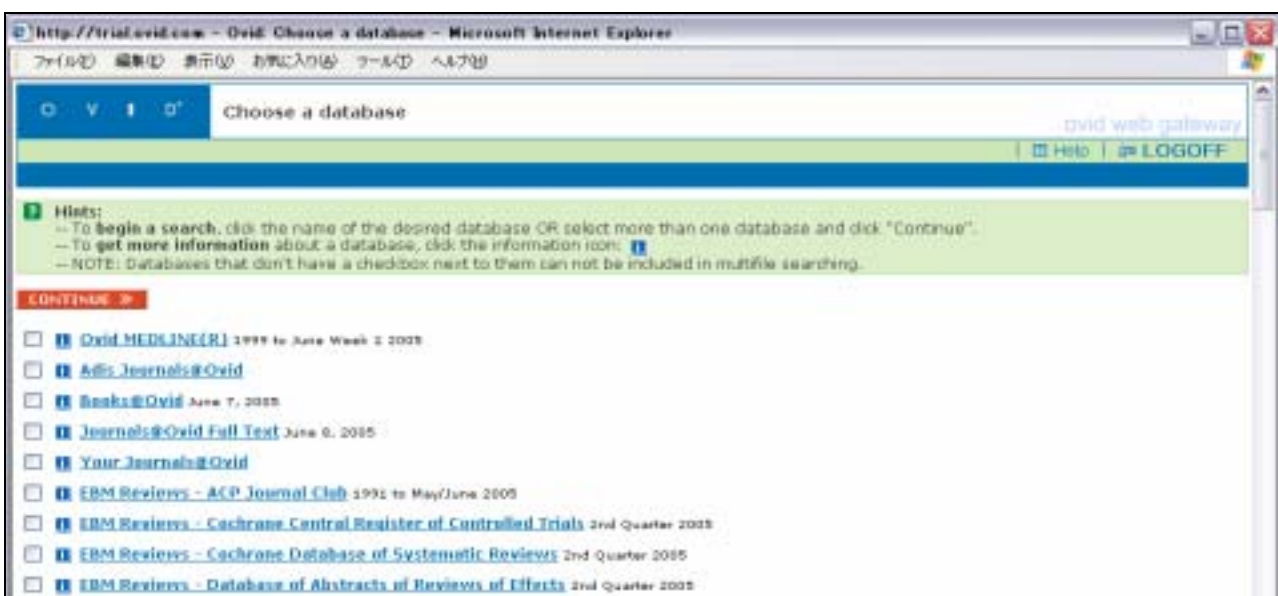
- User ID を小文字で入力します。
- Tab キーを押すか、「Password」ボックスをクリックして、Password を入力します。
- **START OVID** ボタンをクリックし、検索を始めます。

データベース選択

Login すると Ovid Web Gateway のニュース画面「News Page」が表示されます。

CONTINUE>> ボタンをクリックし、「データベース選択画面」に進みます。

< データベース選択画面 >



- ・ Login すると、当該サイトで契約中のデータベースが表示されます。
- ・ 電子ジャーナルを 1 誌以上契約していると、
Journals@Ovid Full Text (Journals@Ovid 全タイトルの目次・抄録 + 契約フルテキスト) および
Your Journals@Ovid (契約中でフルテキストを見られる電子ジャーナルのみのフラグメント)
が表示されます。
- ・ 電子ブックを 1 タイトル以上契約していると、
Books@Ovid フラグメントが表示されます。
- ・ 各データベースの説明書(フィールド・ガイド)は、データベース名の左にある **i** アイコンをクリックすると表示
されます。日本語フィールドガイドについては、Ovid Japan Web Site からダウンロードできます。
- ・ 利用したいデータベースの指定
 1. データベース名をクリックする
 2. チェックボックスにチェックを入れてから **CONTINUE->>** ボタンをクリックする
- ・ 複数のデータベースにチェックを入れて **CONTINUE->>** ボタンをクリックすると、マルチファイル検索(複数ファ
イルの同時検索モード)になります。一度に 5 つのデータベースを指定することができます。

検索

< 基本検索画面 : Main Search Page >

接続しているデータベースの表示

#	Search History	Results	Display
1	exp Death, Sudden/	19097	DISPLAY
2	exp far east/	109004	DISPLAY
3	1 and 2	224	DISPLAY

検索履歴の表示

Enter **Keyword** or phrase (use "\$" for truncation):

SEARCH

Map Term to Subject Heading

Limits

More Limits

- Full Text
- Review Articles
- EBM Reviews
- Biometrics
- History of Medicine
- Toxicology
- Humans
- Abstracts
- Latest Update
- Cancer
- Space Life Sciences
- Core Clinical Journals (ASM)
- English Language
- Local Holdings
- AIDS
- Complementary Medicine
- Systematic Reviews

Publication Year: - -

思いついた検索語または句を入力し、**SEARCH** ボタンをクリックします。

よく使われる絞り込みが用意されています。直前の集合あるいは検索と同時に絞り込みます。












マッピング: 入力語を最適な統制語に誘導する機能です。シソーラスのあるデータベースで有効です。



入力規則

- ・ 思いついた検索語または句を入力します。
- ・ 何も指定しない場合は、主題からの検索になります。
- ・ 入力する文字は大文字、小文字どちらでも構いません。
- ・ 入力が間違っただけの場合は、バックスペース・キーで戻って訂正するか、ハイライト(反転表示)させブラウザの「切り取り」を利用します。
- ・ 句(フレーズ、複合語)の入力はそのままスペースでつないで入力します。システムはスペースを入力順で隣接している句(複合語)と見なします。
- ・ 事後限定: 検索集合番号の再利用 いったん得た検索集合番号を再利用できます。フィールド限定したり、他の検索語と組み合わせたりできます。
- ・ システムは入力した数字を検索集合番号と見なします。数字を検索語として入力する場合はダブルクォーテーション (“ ”)で囲みます。ただし検索集合番号が入力した数字に達していない場合は、検索集合番号ではなく数字と見なします。
- ・ システムは入力した「and」「or」「not」を論理演算子と見なします。「and」「or」「not」を論理演算子ではなく検索語として入力する場合は、ダブルクォーテーションで囲んでください。

主なアイコンの説明

< 文献データベースで表示されるアイコン >

 Keyword	主題からの検索には「 Keyword 」ボタンをクリックします。何も指定しないと基本検索画面のデフォルトは、この Keyword 検索モードになっています。
 Author	著者名からの検索には「 Author 」ボタンをクリックします。「姓名 + スペース + イニシャル」(例: smith a)の形で入力すると、著者索引リストがブラウザ表示されます。
 Title	タイトル中の語句の検索には「 Title 」ボタンをクリックします。単語または句を入力します。
 Journal	雑誌名の検索には「 Journal 」ボタンをクリックします。雑誌名の最初の 2,3 文字(省略誌名は不可)を入力すると、雑誌名索引のリストがブラウザ表示されます。
 More Fields	その他のフィールドから検索するには「 More Fields 」ボタンをクリックします。検索したいフィールドをチェックして検索語を入力します。すべての検索フィールドで、索引をブラウザ表示することができます。
 Search Tools	「 Search Tools 」ボタンをクリックすると、そのデータベースで利用可能な検索補助ツールのメニューが表示されます。
 Combine Searches	検索履歴中の集合を「 Combine 」ボタンで演算できます。AND(論理積)と OR(論理和)の掛け合わせができます。NOT(論理差)は入力が必要です。
 More Limits	「 More Limits 」ボタンをクリックすると、そのデータベースで利用可能なすべての絞り込み項目を表示します。絞り込み対象の集合番号を選べます。
 Basic Search	「 Basic 」ボタンをクリックすると、検索モードが通常のアドバンスからベーシックに切り替わります。ごく簡単な検索のみが可能です。
 Advanced Search	検索モードをアドバンスにもどすタグです。
 Change Database	検索対象データベースを切り換えるには、「 Change Database 」ボタンをクリックします。

 LOGOFF	「 Logoff 」ボタンをクリックすると検索を終了し、Ovid サーバとの接続が切れます。ライセンスの無駄な消費を防ぐために、必ず Logoff してください。
 Help	「 Help 」ボタンをクリックすると、その検索段階に必要な「 Help 情報 」が別ウィンドウで表示されます。
	検索を実行するボタンです。
	次のステップに進みます。いろいろな画面で表示されます。
	「 Personal Account 」をクリックすると、保存検索式や AutoAlert を個々のユーザー固有の領域に保存できる、個人用アカウントを作成できます。
	「 Saved Searches 」をクリックすると、保存した検索式を実行・編集・内容表示・削除することができます。
 Save Search/Alert	「 Save Search/Alert 」ボタンをクリックすると、作成した検索式を保存します。
 Delete Searches	「 Delete Searches 」ボタンをクリックすると、任意の集合または全ての集合を削除できます。実行前には確認メッセージが表示されます。
 EXPAND	検索履歴が 4 行を超えると、検索履歴の右側に表示されます。クリックすると直近の 4 集合だけでなく、全ての検索履歴が表示されます。
 CONTRACT	全検索履歴の表示から、4 行表示にもどすボタンです。 「 Contract 」タブのクリックで、「 Search History 」ウィンドウには、直前の 4 つの集合のみが表示されるようになります。
 Customize Display	「 Customize Display 」のクリックで、Citation List の出力形式をカスタマイズできます。
 Reset Display	「 Reset Display 」で、カスタマイズした Citation list をもとの形にもどします。
 Main Search Page	「 Main Search Page 」のクリックで、いつでも基本検索画面に戻ることができます。
 Results Display	「 Results Display 」のクリックで、いつでも Citation List を表示できます。
 Next Result	「 Next Citation(s) 」のクリックで、次のレコードを表示します。
 Previous Result	「 Previous Citation(s) 」のクリックで、前のレコードを表示します。
新機能	
 Find Citation	Find Citation 書誌情報を一括入力する検索モードです。
 Find Citing Articles	当該レコードを引用している文献へのリンクを表示します
Find Similar	類似レコードへのリンクを表示します(準備中)

主題からの検索

統制語検索 (Controlled Term) と自由語検索 (Free Term) の2つの検索方法があります。

統制語検索

論文の主題を統制語に基づいて索引しているデータベース (MEDLINE, EMBASE, Cinahl, BIOSIS Previews, PsycINFO, INSPEC, ERIC など) は、Ovidのマッピング機能により適確な検索結果を得ることができます。

統制語検索の特徴

長所:

著者がどのような用語を使っているか、その概念を一括して網羅的に検索することができます。

語尾変化や同義語に気をつかう必要はありません。主題分野が特定されるのでノイズ(文字列としては入力語を含むが、内容としては狙いと異なるレコード)を減らすことができます。

短所:

用意されている統制語によっては特定性に欠ける場合があります。

統制語としてシソーラスに登録されるまでのタイムラグがあるため、最新の概念や用語は統制語検索には利用できないことがあります。

索引者の索引ミスや索引漏れがないわけではありません。

マッピング

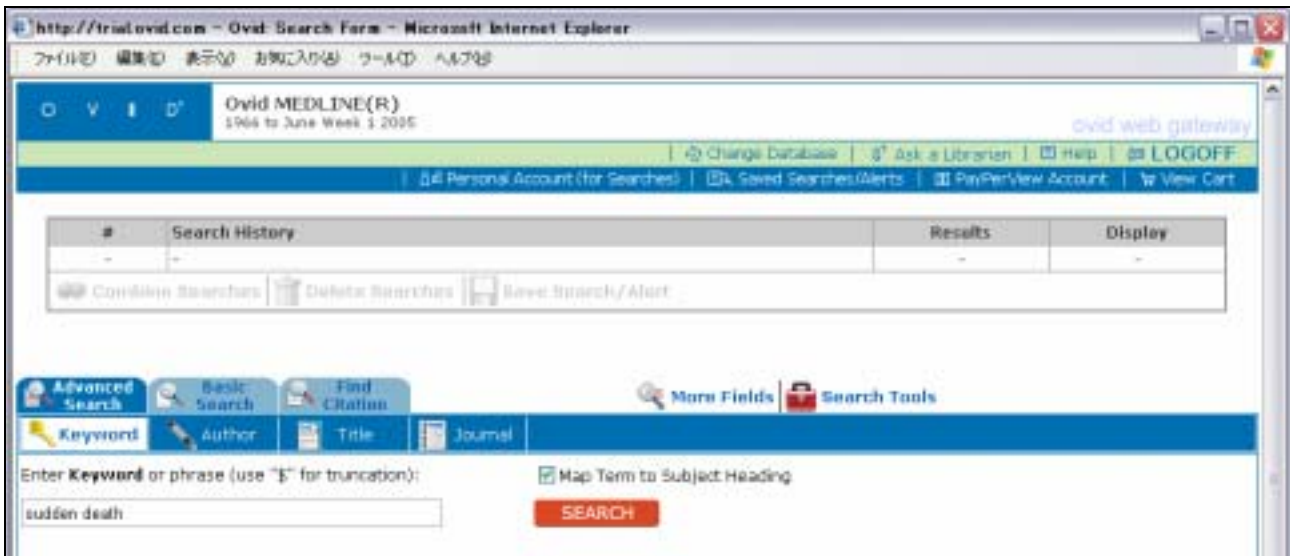
Ovid には、入力した語句を最適なキーワードに自動的に誘導するマッピング機能があります。各データベースの統制語をまったく知らなくても、思いついた言葉から主題検索の鍵となるサブジェクト・ヘディング(統制索引語)を見つけ出すことができます。統制索引語の階層関係も一覧でき、最適な検索語をリスト中から選ぶことも可能です。

マッピングの手順:

1. 基本検索画面の「**Map to Subject Headings**」ボックスにチェックを入れ、Mapping 機能を ON にします(もともとチェックされているデータベースでは、そのまま検索をはじめます)。
2. 入力ボックスに思いついた語句を入力し、**SEARCH** ボタンをクリックします。
3. 「Mapping Display 画面」が展開し、適切な統制語が1つあるいは、リスト表示されます。
4. 適切な統制語(青色)をクリックすると、**Tree構造**あるいは**シソーラス**を表示することができます。
ツリー構造: EMBASE, BIOSIS Previews, CINAHL, Derwent Drug File, MEDLINE など
シソーラス: ABI/Inform, CAB, ERIC, PsycINFO, Ei Compendex*, INSPEC, SPORTDiscus など
5. 適切な統制語が見つかったら、左側のチェックボックスをマークして選択します(適切な統制語は複数、選択できます。画面の最上部の Combine Selection with プルダウンメニューで、OR あるいは AND 演算できます。)
6. 適当な用語がない場合には、最下段に表示される、自由語検索の選択肢(search as keyword)を選びます。
7. 「**Explode**」チェックボックスをマークすると、下位語の一括検索ができます。
8. 「**Focus**」チェックボックスをマークすると、中心主題に絞った検索ができます(Medline, EMBASE のみ)。
10. **CONTINUE>>** ボタンをクリックし、次のステップにすすみます。

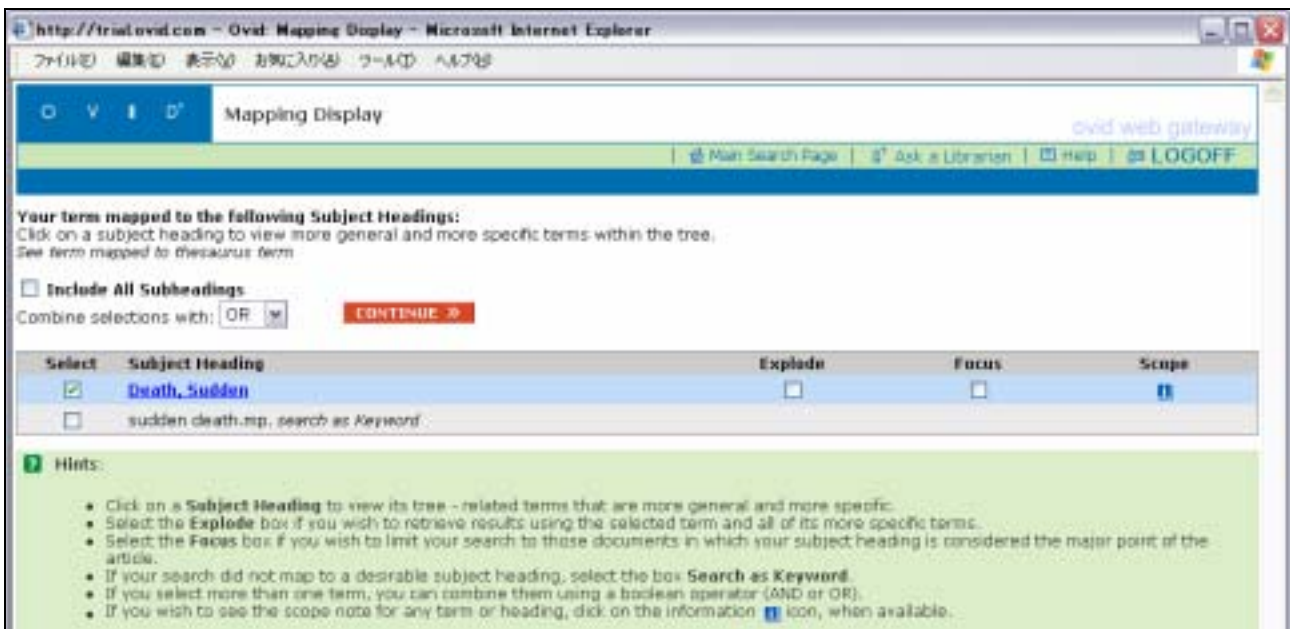
検索例: MEDLINE で突然死(Sudden Death)について検索します。

Medline 基本検索画面



入力ボックスに思いついた言葉「sudden death」を入力し **SEARCH** ボタンをクリックします。

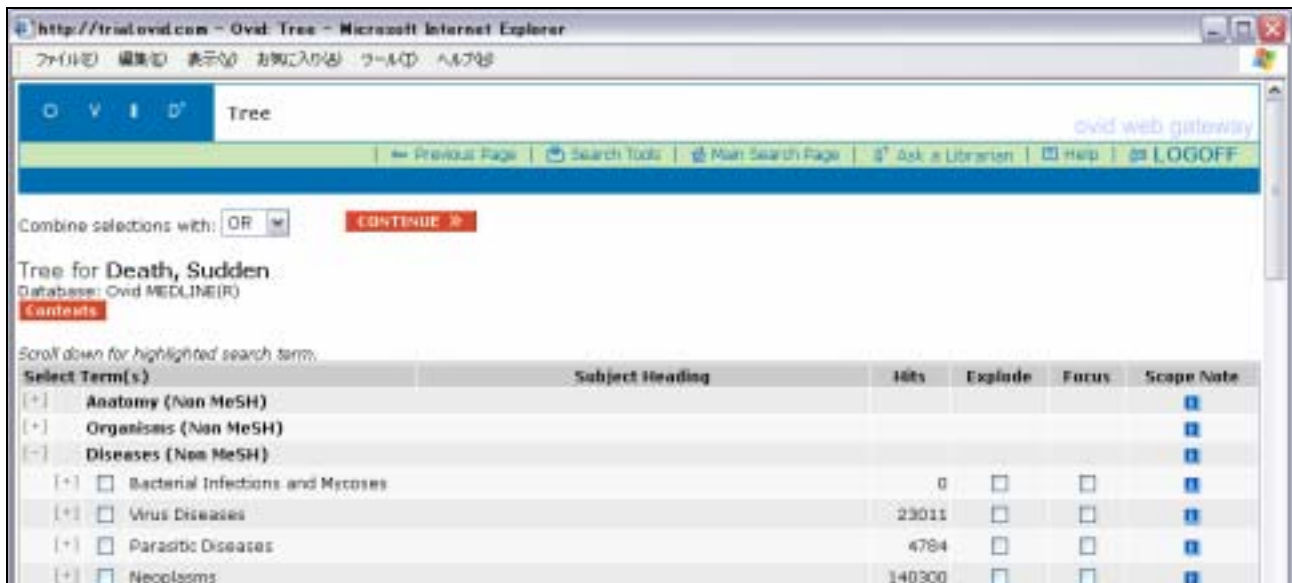
Mapping Display 画面



入力語の「sudden death」は、「Death, Sudden」に誘導されました。

「Death, Sudden」は MEDLINE の統制語である MeSH (Medical Subject Headings) の優先語です。MEDLINE の索引者は、「突然死」が論文の主題である場合、レコード中に統制語の「Death, Sudden」を記述します。Death, Sudden をクリックすると、より広い概念をあらわす上位語や、より特定の概念をあらわす下位語を含む統制語の階層関係 (Tree 構造) を一覧することができます。

Tree の表示



<<中略>>



Explode

Focus

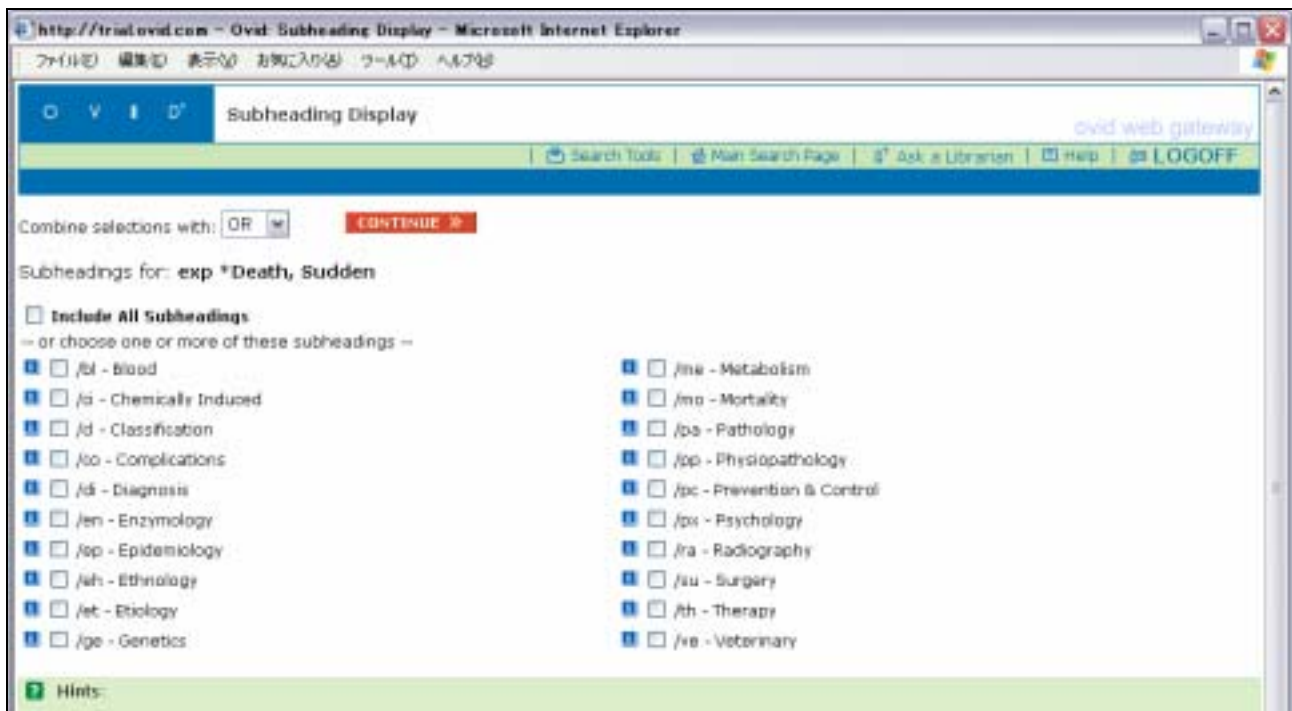
「Death, Sudden」の Tree 構造(上位語、下位語)が表示されています。

「Explode」は下位語をまとめて検索する機能です。**Explode** ボックスにチェックを入れておくと、「Death, Sudden」の下位語である「Death, Sudden, Cardiac」や「Sudden Infant Death」を索引しているレコードも一括して検索されます。「Explode」機能は、漏れのない検索に役立つので、常に利用することをおすすめします。

「Focus」は、選んだ MeSH term が特に中心主題として扱われているレコードに絞りこむ機能です。ここでは、例として **Focus** ボックスにもチェックを入れています。はじめから検索対象が絞り込まれてしまうので、一般的な概念の検索や、該当レコード数が非常に多いことがあらかじめわかっている場合にのみ、利用することをおすすめします。

CONTINUE ボタンをクリックし、先にすすみます。

サブヘディング表示画面



Medline の統制語 (MeSH term または、サブジェクト・ヘディング: 主件名標目) は、サブヘディングとの組み合わせによっても記述されます。サブヘディング (副件名標目) は、たとえば「突然死の予防と管理」・「突然死の疫学」の示すように、主題の扱われ方を側面から特定することができます。Ovid では Mapping 機能により、適切な MeSH term をみつけたすと、次に、自動的に選択可能なサブヘディングの一覧が表示されるようになっています。

各サブヘディングの詳細は、左側の **i** アイコンをクリックすると表示されます。

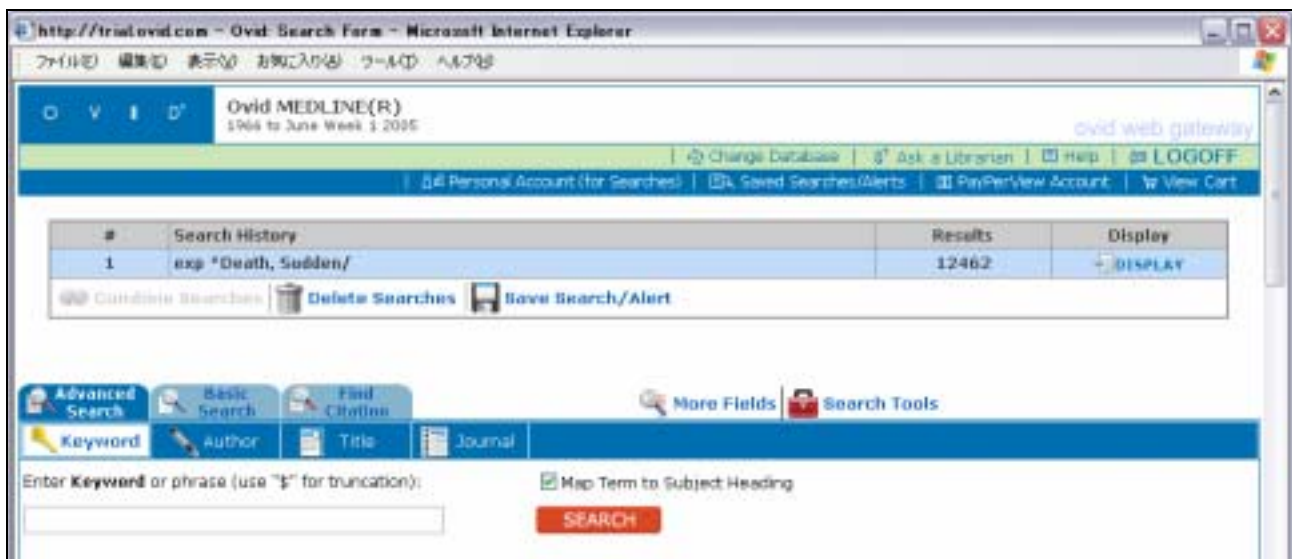
利用したいサブヘディングがあれば、チェックボックスにチェックを入れ **CONTINUE>>** ボタンをクリックします。サブヘディングは、複数選ぶことができます。

特にサブヘディングを利用しない場合には、**CONTINUE>>** ボタンをクリックして、先にすすみます。

サブヘディングを何も選択しなかった場合には、どのサブヘディングと組み合わせて索引されている「Death, Sudden」も、サブヘディングと組み合わせられていない「Death, Sudden」も検索対象になります。

「**Include All Subheadings**」にチェックマークを入れた場合も同じです。

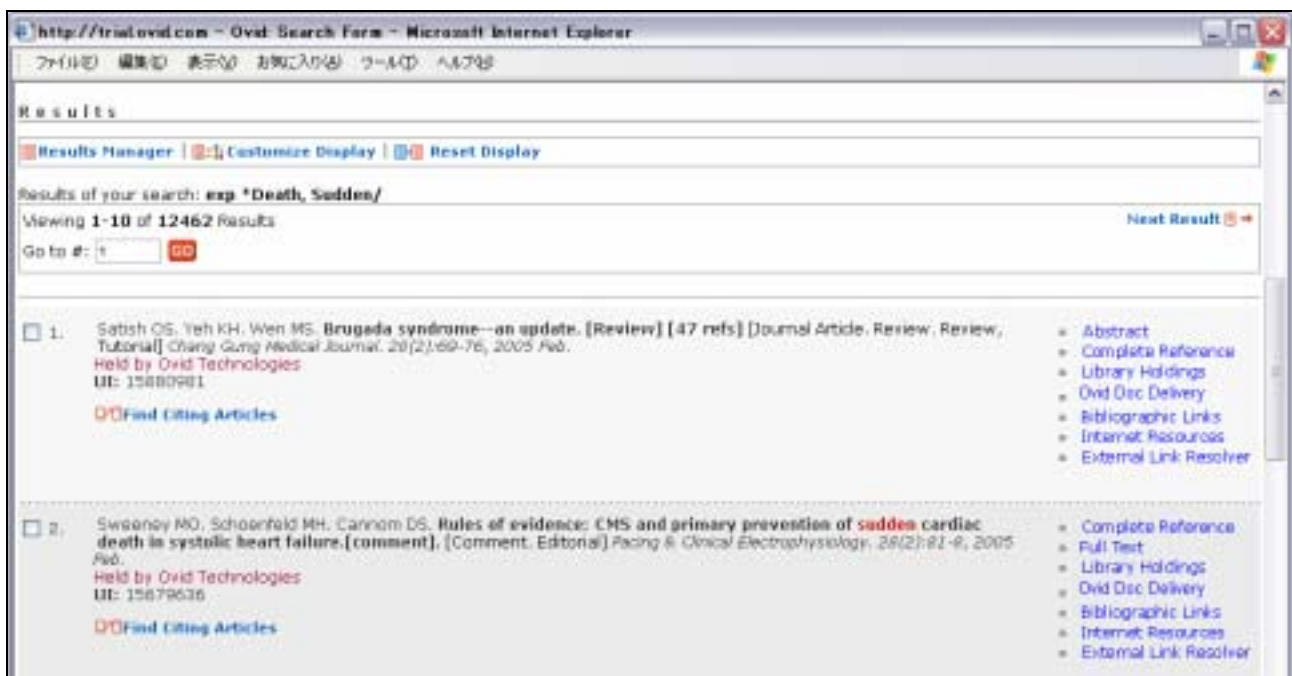
検索履歴の表示



思いついた言葉「Sudden Death」から誘導された「Death, Sudden」（Explode 検索 + Focus 検索）の該当レコード数 12,462 件が集合 1 として、検索履歴 (Search History) に表示されています。

右端の Display ボタンをクリックすると、検索結果を 10 件ずつ表示することができます。

検索結果の表示



検索結果は、新しい順に 10 件ずつ、著者名・タイトル・出典情報までが一覧表示されます。

右側の「Complete Reference」をクリックすると、Medline のフルレコードが表示されます。

Medline フルレコードの表示

http://trial.ovid.com - Ovid Search Results - Microsoft Internet Explorer

Search Results

Results of your search: exp *Death, Sudden/
Viewing 1 of 12462 Results

Go to #:

Result 1.

Find Citing Articles
Link to...

Abstract | Library Holdings | Ovid Doc Delivery | Bibliographic Links | Internet Resources | External Link Resolver

Unique Identifier	15880981
Record Owner	NLM
Authors	Satish OS, Yeh JH, Wen MS.
Authors Full Name	Satish, Oruganti Sai, Yeh, Kuan-Hung, Wen, Ming-Shien,
Institution	Nizam's Institute of Medical Sciences, Hyderabad, India.
Title	Brugada syndrome—an update. [Review] [47 refs]
Source	Chang Gung Medical Journal. 28(2):69-76, 2005 Feb.
Abbreviated Source	Chang Gung Med J. 28(2):69-76, 2005 Feb.
Publishing Model	Print
NLM Journal Code	dzr, 101088034
Journal Subset	IM
Local Messages	Held by Ovid Technologies

Country of Publication: China (Republic : 1949-)

MeSH Subject Headings: [Bundle-Branch Block / di \[Diagnosis\]](#), [Bundle-Branch Block / di \[Physiopathology\]](#), [Bundle-Branch Block / in \[Therapy\]](#), [*Death, Sudden, Cardiac](#), [Diagnosis, Differential](#), [*Electrocardiographs](#), [Humans](#), [Synonyms](#)

Abstract: A diagnostic triad characterizes Brugada syndrome. It consists of a right bundle branch block, ST-segment elevation in leads V1-V3 and sudden cardiac death (SCD). Approximately 50% of patients with Brugada syndrome noted to have familial occurrence, this suggests a genetic component of the disease. Mutations in gene SCN5A, an encoder for human cardiac sodium channel on chromosome 3p21, causes Brugada syndrome. Before considering the diagnosis of Brugada syndrome, exclude precardial ST-segment elevation secondary to acute coronary syndrome, electrolyte imbalance, myocarditis, drug-over dosage (cocaine, tricyclic antidepressants), and arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy/dysplasia. Intravenous administration of amaline, flecainide, and procainamide may exaggerate the ST-segment elevation, or unmask it when it is initially absent in patients with suspected Brugada syndrome. Programmed electrical stimulation (PES) may help in risk stratification, and in some cases, establish the diagnosis. However, the accuracy of PES in predicting outcome is debatable, especially in patients showing an asymptomatic Brugada ECG, and reporting no family history of SCD. Treatment with an implantable cardioverter-defibrillator (ICD) is the only established effective therapy for the disease. With ICD therapy, the mortality rate at a 10 year follow-up was 0%. Supporting data for long-term pharmacological therapy with quinidine, or isoproterenol for prevention of SCD, in these patients, is incomplete. Future advances in understanding the molecular mechanisms of Brugada syndrome may provide answers to many of the controversial issues in the management of this disease. [References: 47]

Publication Type: Journal Article, Review, Review, Tutorial.

Language: English

Entry Date: 20050602

Year of Publication: 2005

Update Date: 20050603

抄録中では、Sudden Cardiac death (SCD)が使われています。

Medlineの統制語フィールド「MeSH Subject Headings」には、「Death, Sudden」の下位語である「Death, Sudden, Cardiac」が記述されています。アスタリスク記号 (*) が語頭に付与されているので、中心主題であることがわかります。「Focus」は、このアスタリスクの付いている MeSH term (Major Descriptors)だけを限定して検索する機能です。

自由語検索

Medlineのような統制語(シソーラス)をもたないデータベース (Current Contents, EBMR, Journals@Ovid など) は、主題を自由語 (Free Term) で検索します。フィールド限定しない場合、入力した語はマルチフィールド・インデックス(ベーシックインデックス:mp フィールド)内で検索されます。各データベースの mp フィールドの内容については、日本語フィールドガイドを参照してください。自由語検索する場合には、検索漏れやノイズを防ぐために、トランケーションや演算子を利用します。(付録参照 p. 29)

自由語検索の特徴

長所:

入力した語句を使用しているレコードのみが検索されるので、適合率の高い検索ができます。

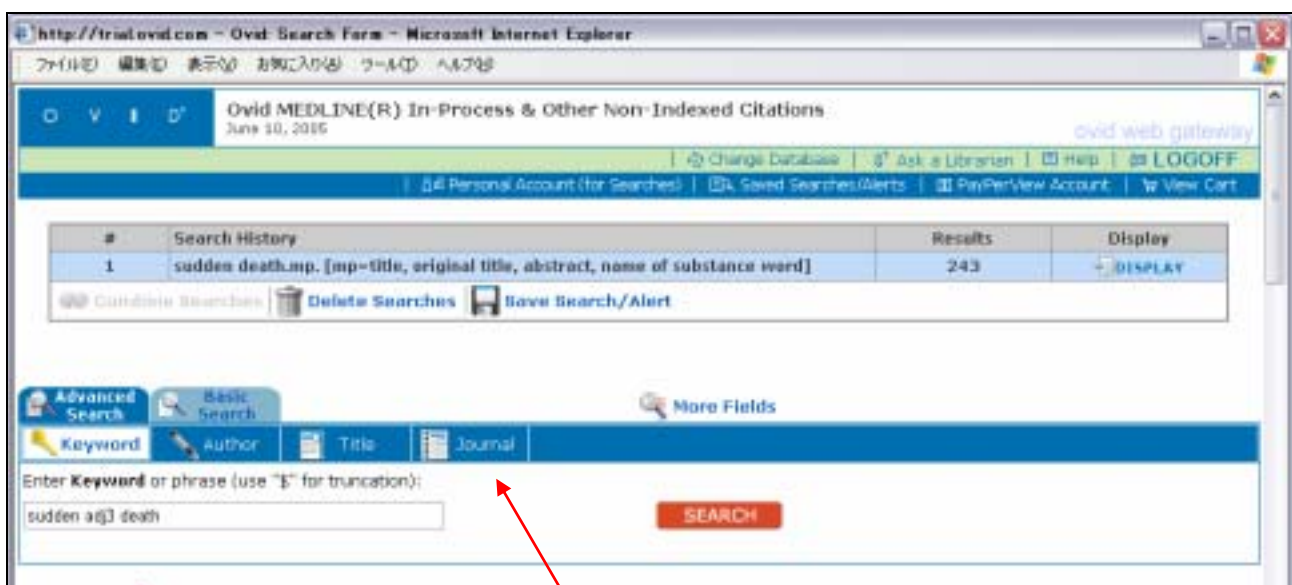
シソーラスにまだ搭載されていない最新概念や、シソーラスに採択されない語句(例:医薬品の商品名など)を使った検索ができます。

短所:

入力した語句と文字列として一致する場合しか検索されないので、思いつく限りの同義語を検索に利用しないと、漏れを生じます。語尾変化や英国綴り・米国綴りの差異なども考慮する必要があります。また、文字列上は同じ綴りであっても、主題分野によってまったく違う意味をもつ語を使う場合には、ノイズを拾うので注意が必要です。

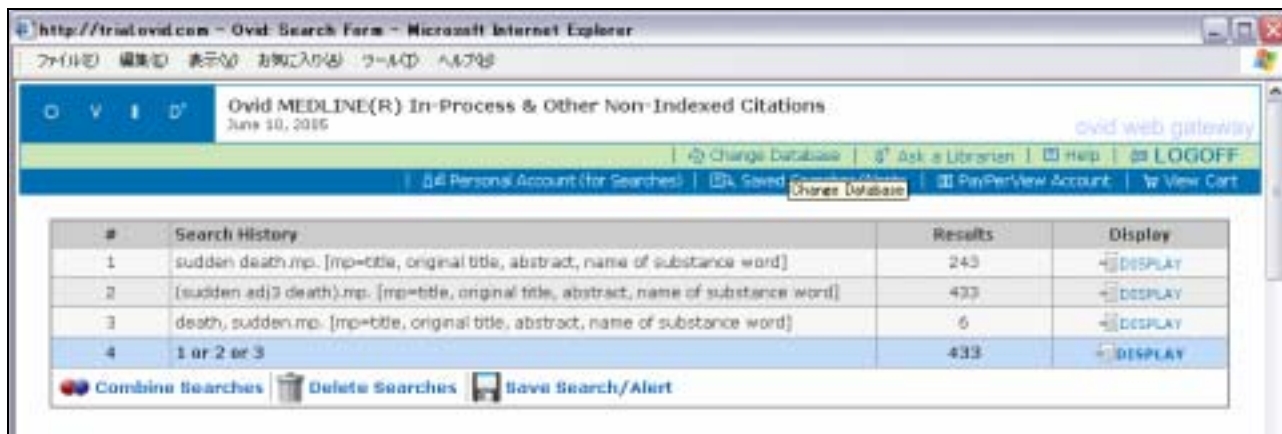
検索例: Ovid Medline In- Process and Other Non-indexed Citation で突然死 (Sudden Death) について検索します。

Ovid Medline In-Process & Other Non-Indexed Citation 基本検索画面



Mapping 機能のないデータベースでは、「Map Term Subject Headings」は表示されません。

Medline In-Process and Other Non-Indexed Citation は、作成途上の Medline (pre-Medline) であり、統制語は付与されていません。このようなデータベースでは、近接演算子やトランケーションを駆使した自由語検索をおこないます。



#	Search History	Results	Display
1	sudden death.mp. [mp=title, original title, abstract, name of substance word]	243	DISPLAY
2	(sudden adj3 death).mp. [mp=title, original title, abstract, name of substance word]	433	DISPLAY
3	death, sudden.mp. [mp=title, original title, abstract, name of substance word]	6	DISPLAY
4	1 or 2 or 3	433	DISPLAY

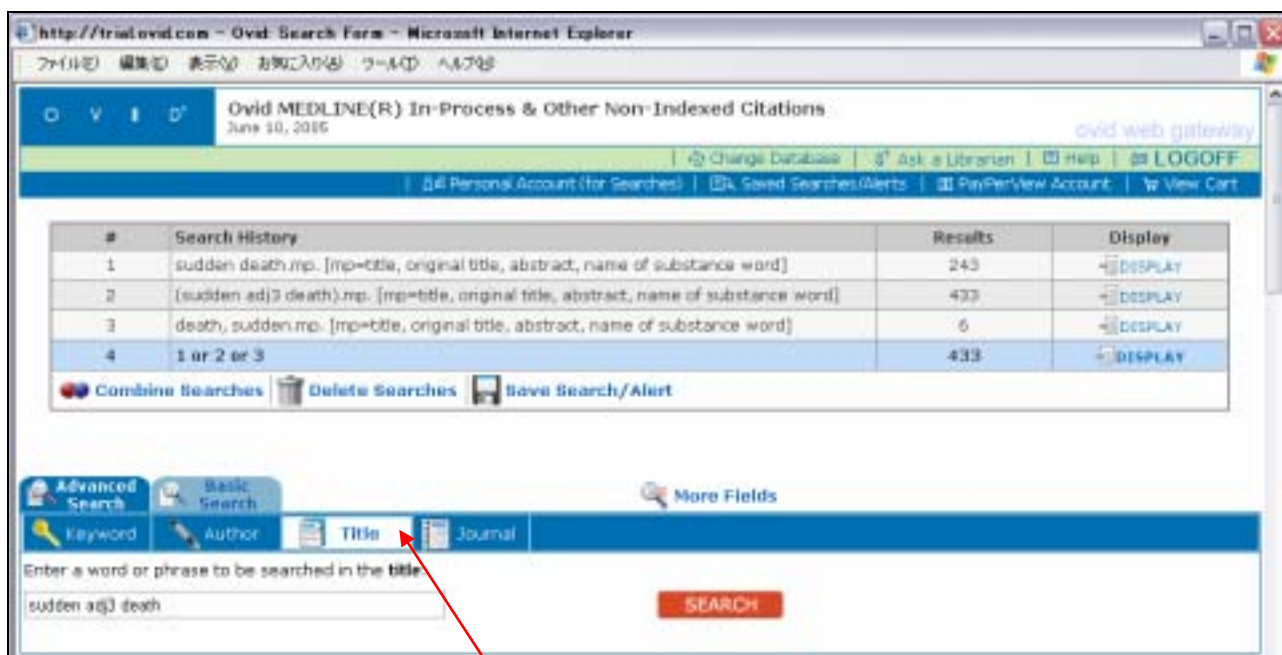
入力した語句「Sudden death」は、特にフィールドを指定しなかったので、.pフィールド(タイトル(翻訳タイトルを含む)・原題・抄録・化学物質名)から検索されています(集合1)。

「Sudden Cardiac death」のような、間に他の単語が入る可能性を考慮して、近接演算子「adj3 (最大3単語を挟んで語順を問わず近接)」を使って検索すると、該当レコード数は増加します(集合2)。

Medline の統制語である「death, Sudden」を使っている著者は、ごく少数です(集合3)。

フィールドを指定した検索 -タイトルから-

自由語検索の際、特に中心主題に特定したい場合には、検索フィールドをタイトル中の語句に限定する方法がおすすめです。タイトル中の語句を検索するには、基本検索画面の「Title」タグをクリックします。入力ボックス上の案内が変化し、入力した語は「Title フィールド」のみから検索されます。



The screenshot shows the search interface with the following elements:

- Search History table (same as above).
- Search options: Advanced Search, Basic Search, More Fields.
- Search fields: Keyword, Author, Title, Journal.
- The 'Title' field is selected, and the search input box contains the text: "Enter a word or phrase to be searched in the title" and "sudden adj3 death".
- A red arrow points to the 'Title' tab.

Title タグをクリックし、「Title フィールド」に限定した検索をおこないます。

#	Search History	Results	Display
2	[sudden ad]3 death).mp. [mp=title, original title, abstract, name of substance word]	433	DISPLAY
3	death, sudden.mp. [mp=title, original title, abstract, name of substance word]	5	DISPLAY
4	1 or 2 or 3	433	DISPLAY
5	{sudden ad}3 death).m_title.	138	DISPLAY

Title フィールドに限定して検索した結果(集合5)は、特にフィールドを指定しないで検索した結果(集合4)よりも該当レコード数は少なくなりますが、突然死が中心主題である可能性は高くなります。

検索履歴の表示では、常に直近の集合4行が表示されます。

右側の **EXPAND** タブをクリックすると、全集合を表示させることができます。

著者名検索

著者名検索をするには、基本検索画面の「Author」タブをクリックします。入力ボックス上の案内が著者名検索用になり、入力した語から著者名リストがブラウザ表示されます。

Enter the **Author's** last name, a space, and first initial if known:

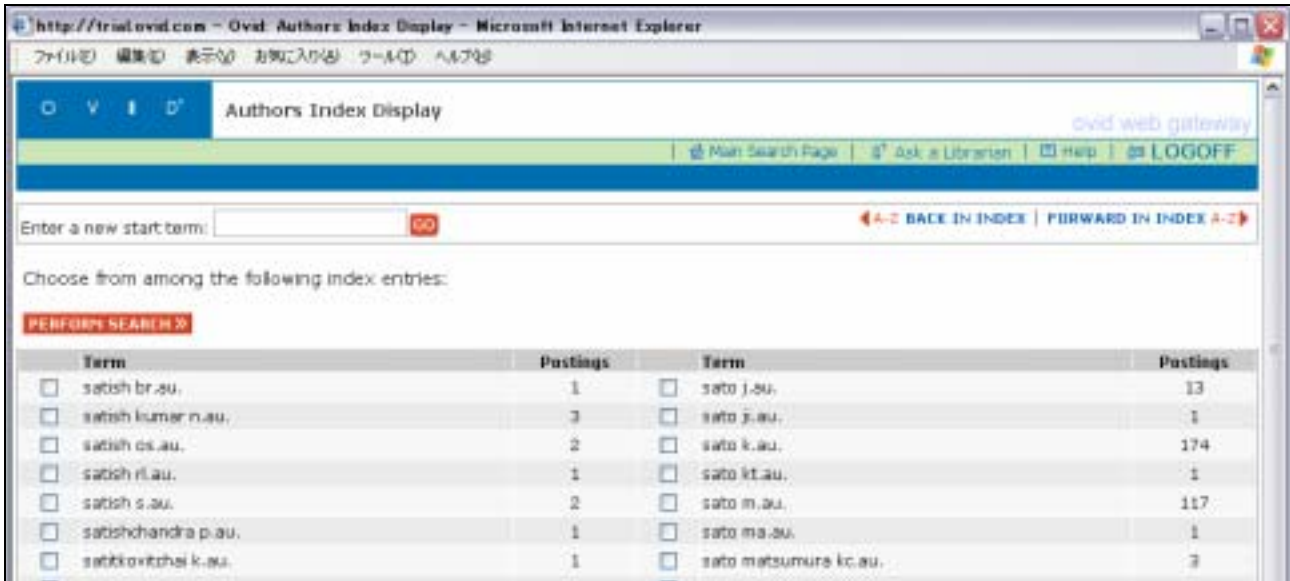
satish

「Author」タブをクリックすると、著者名検索用の案内が、入力ボックス上に表示されます。

著者名のラストネームを入力し、**SEARCH** ボタンをクリックします。

ファーストネームは、判明している場合には、ワンスペースをあけてイニシャルを入力します。

著者名索引のブラウザ画面:



入力した著者名(ラストネーム)付近の著者名索引が一覧表示されます。

適切な著者名索引を選択し、**PERFORM SEARCH >>** ボタンをクリックします。

右上の「**BACK IN INDEX**」で、前の頁を「**FORWARD IN INDEX**」で先の頁を通覧することができます。

著者名索引リストのまったく異なる部分を見たい場合は、Enter a new start term ボックスに新しい語を入力し、**GO** ボタンをクリックします。

注意: 著者名の表記は統一されていません。可能性のある著者名はなるべく多く選択しましょう。

ファーストネームの選択肢が多すぎる場合は、トランケーションを使って直接検索する方法もあります。

入力例: SMITH \$. AU

雑誌名の検索

雑誌名から検索するには「基本検索画面」の「**Journal**」タブをクリックします。雑誌名の最初の数文字を入力すると、相当する雑誌名の索引がブラウザされるので、適切な雑誌名を選びます。

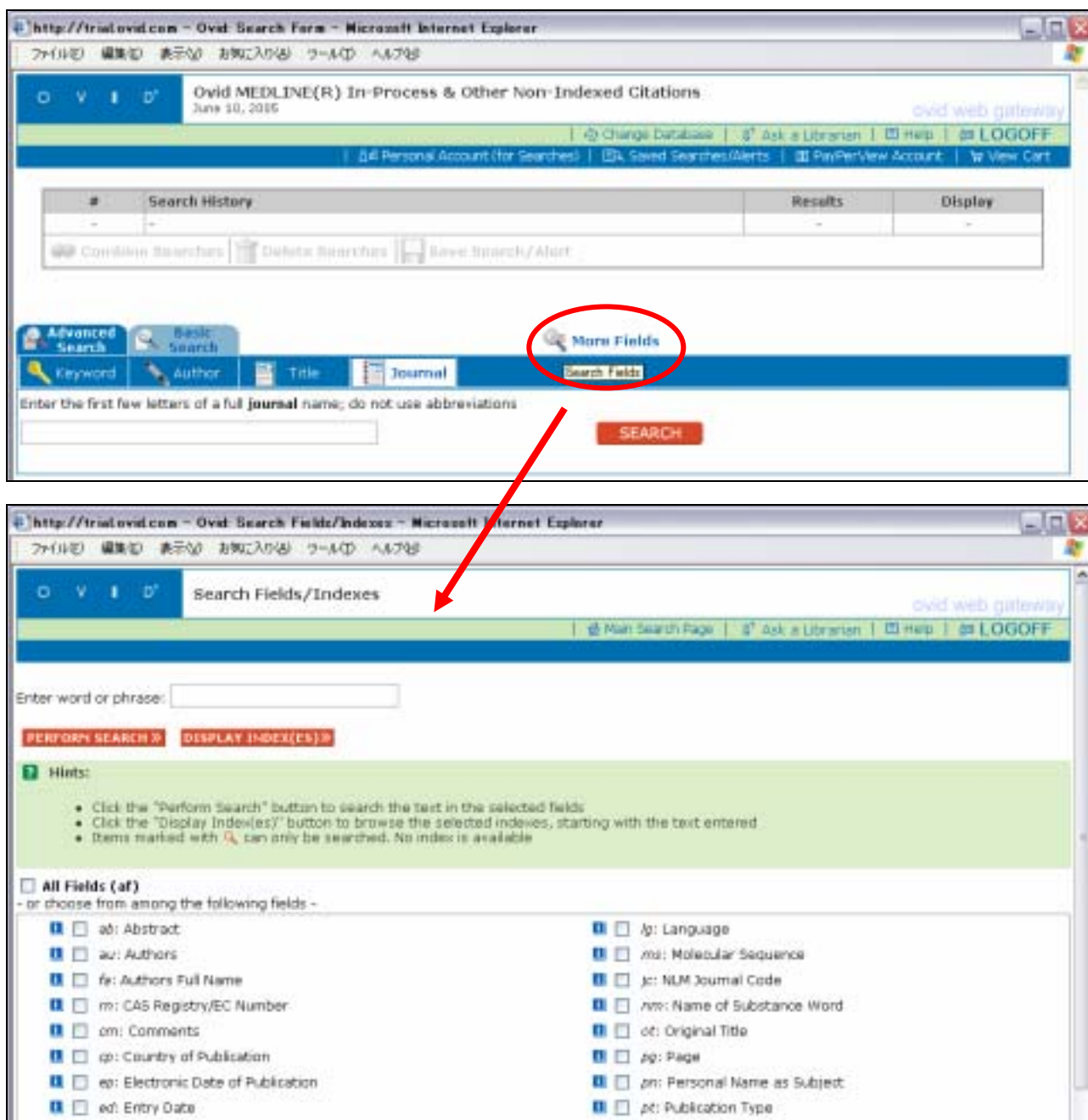


Ovid では雑誌名はフルタイトル表示に統一されており、省略形での表示はありません。

雑誌名の頭字が「A」「An」「The」である場合、例えば“The Journal of Brain Surgery” の場合は “journal of brain surgery” あるいは “journal of brain” と入力します。

その他のフィールドからの検索

タイトル、著者名、雑誌名以外のフィールドからの検索は、「基本検索画面」の「More Fields」ボタンをクリックして、そのデータベースで利用できる検索フィールドを確認してからおこないます。



検索したいフィールドのチェックボックスをマークします。

各フィールドの説明は、フィールド名の左にある **i** アイコンをクリックすると表示されます。

検索したい語を入力ボックスに入力し、**DISPLAY INDEX(ES) >>** ボタンをクリックすると、著者名と同じように索引がリスト表示されます。適切な索引を選択し、**PERFORM SEARCH >>** ボタンをクリックします。

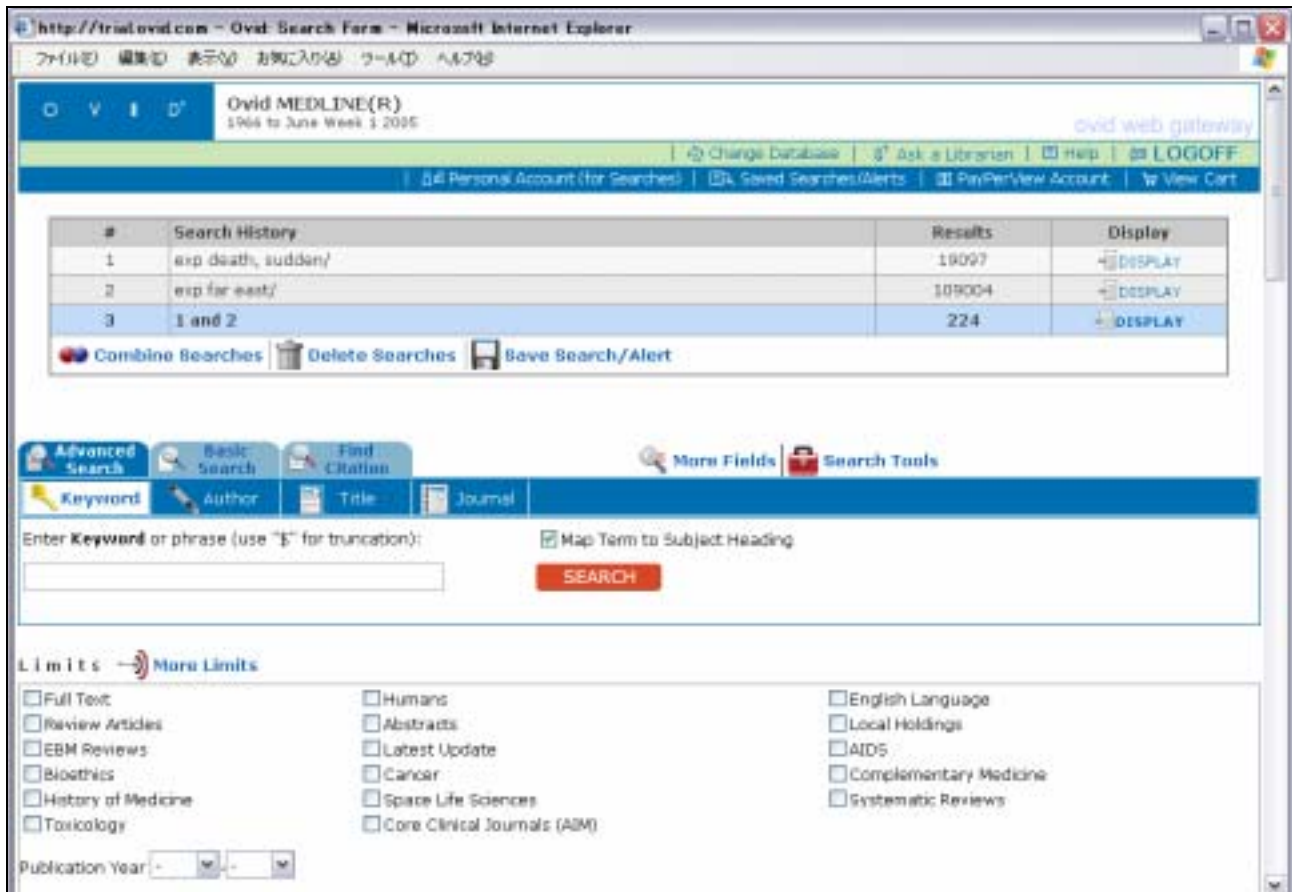
全フィールドを検索対象とする場合は「All Fields (af)」をクリックします。

注意: 利用可能な検索フィールドは、データベースによって異なります。事前に確認する場合には、日本語フィールドガイドをご活用ください。

絞り込み

Limit to: 「基本検索画面」上の絞り込み

< MEDLINE 基本検索画面 >



- ・ 検索語の入力ボックスの下部には、よく使われる絞り込み項目が用意されています。
- ・ 入力した検索語と同時に絞り込みをかけるのに便利です。
- ・ 利用する絞り込み項目にチェックを入れ、**SEARCH** ボタンをクリックします。
- ・ すでに作られた集合に対して絞り込みをする場合は、ブルーにハイライトされている直近の集合にしか、絞り込みをかけられません。
- ・ 直近の集合以外の集合に絞り込みをかける場合には、**More Limits** を使います。

注意: 基本検索画面上の Limits は、よく使われる項目のみが表示されています。

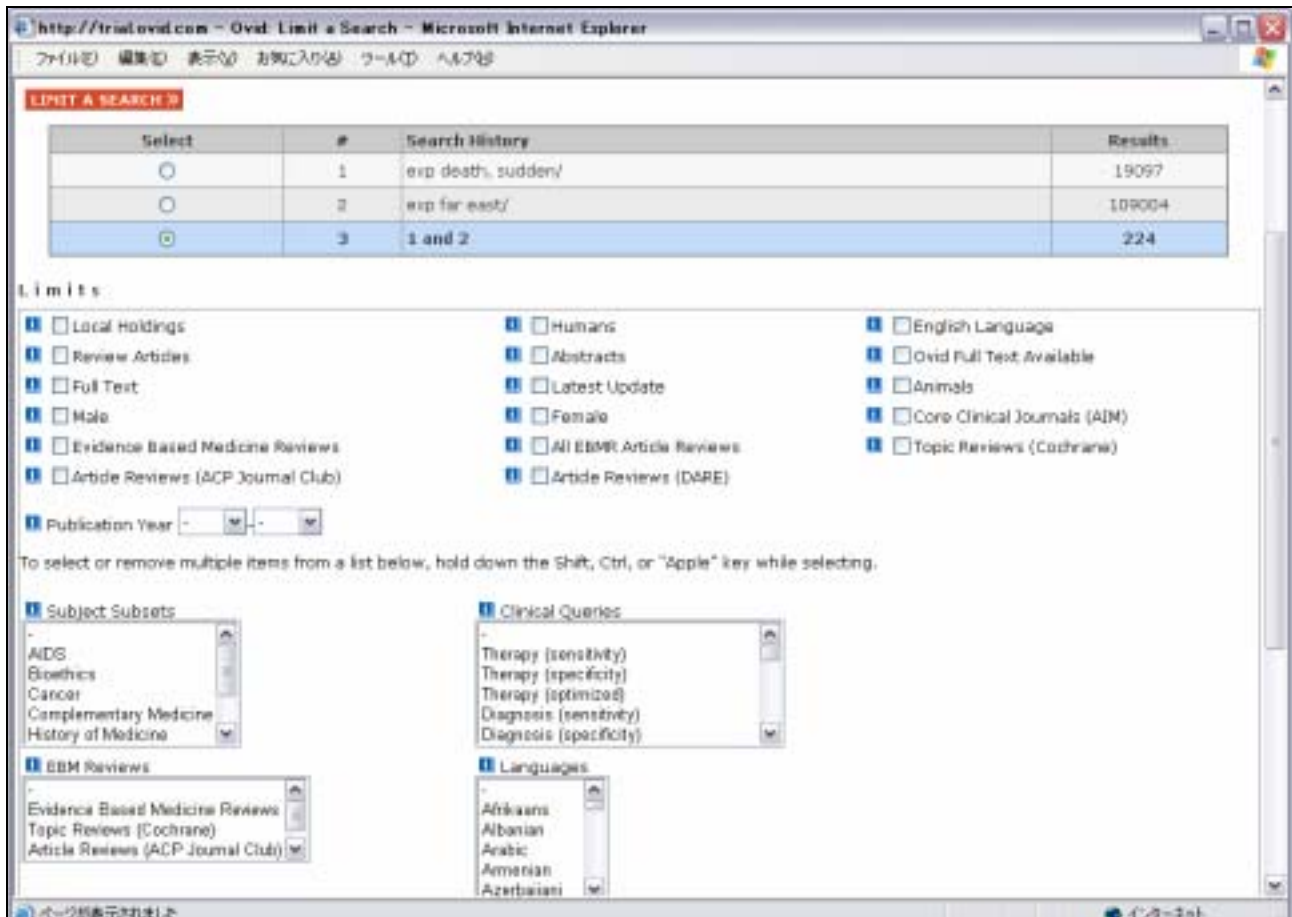
そのデータベースで利用可能なすべての Limit 項目は、**More Limits** で一覧できます。

日本語フィールドガイドもご活用ください。

「More Limits」での絞り込み

More Limits は、集合を1つ以上作った後で利用可能になります。最初にそのデータベースにログインした時には、グレイアウトして使えない状態になっています。**More Limits** には、チェックマークだけでなくプルダウンで選択肢を選ぶ項目も用意されています。

< MEDLINE limit a Search 画面 >



- ・ 「Search History」 検索履歴から絞り込む集合の「Select」欄をチェックして選択します。
- ・ (何も指定しないと、直近の集合にチェックマークが付いています。)
- ・ 利用したい絞り込み項目に、チェックマークを入れます。
- ・ 出版年での絞り込みは、西暦をプルダウンメニューから範囲指定しておこないます。
- ・ 「Limit a Search」画面の下部には、プルダウンから選択する絞り込み項目が用意されています。
- ・ それぞれの絞り込み項目の説明は、**i アイコン**をクリックすると表示されます。
- ・ 必要な絞り込み項目の選択が終了したら、**LIMIT A SEARCH >>** ボタンをクリックします。
- ・ 「基本検索画面」の検索履歴に、絞り込みのされた新しい集合が作成されています。

・ チェックボックスで選ぶ絞り込み

複数の絞り込み項目をチェックすると、個々の絞り込み条件の結果を **AND 演算** します。

例えば、English と Full Text の 2 項目にチェックを入れると「原語が英語」でかつ「フルテキストリンク可能」なレコードに限定した検索がおこなわれます。

・ プルダウン・メニューからの絞り込み

同一項目内で、複数の選択肢をえらぶと **OR 演算** になります。

例えば、Age Group 項目で「Newborn Infant」と「Infant」を選択すると、「生後一ヶ月以内」または「1ヶ月以上23ヶ月まで」のヒトを研究対象としたレコードに限定されます。項目間では **AND 演算** になります。

検索結果の表示

Citation List 表示

検索をおこなうと、基本検索画面の下部に検索結果が表示され、画面を下にスクロールすると、新しい順に 10 件ずつ一覧できます。表示される検索結果は、常に直前に作成した集合の内容ですが、検索履歴の右側の **Display** ボタンをクリックすると、任意の集合の検索結果を表示させられます。

論題の一覧の前に以下の表示があります。

「**Results of your search**」... 結果を表示している集合の検索式を示します。

「**Viewing**」... 結果を表示している集合の全レコード数と一覧表示中のレコード番号を示します。

「**Go to #**」... ボックスに任意の番号を入力し **Go** ボタンをクリックすると、その番号のレコードを表示します。番号は、カンマで区切って複数入力することも、ハイフンでつないで範囲指定することもできます。

表示される Citation list はカスタマイズすることもできます(通常は、下記のような書誌事項表示がデフォルトになります)。Citation list 上部の「**Customize Display**」をクリックし、カスタマイズ表示画面で任意の形式を指定します。元に戻すには「**Reset Display**」ボタンをクリックします。

< Citation List 表示画面 >



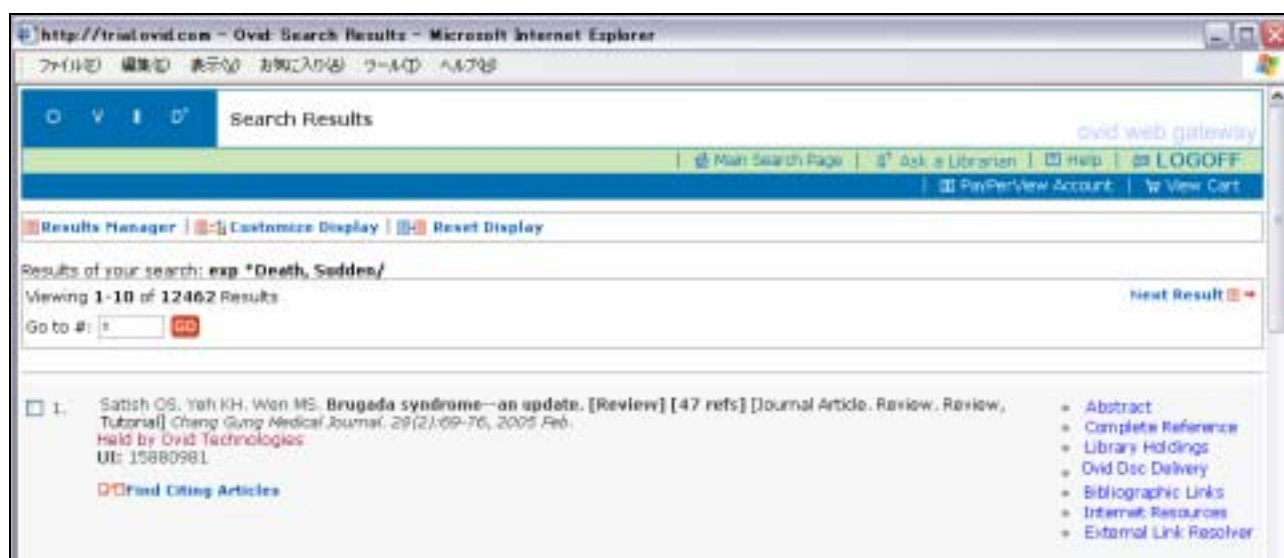
個々の Citation list の書誌情報の右側には、「**Abstract**」(書誌事項 + 抄録表示)、「**Complete Record**」(全フィールド表示)などの出力形式へのリンク等が表示されます。そのレコードの詳細情報や関連情報を参照できます。

リンクタイプ: 利用データベースと設定により、さまざまなリンクが表示されます。

内部リンク	Abstract	書誌情報 + 抄録の表示にリンクします。通常、サブジェクト・ヘディング等の統制語は表示されません。
	Complete Reference	サブジェクト・ヘディング等を含む、当該レコードの全情報を表示する形式にリンクします。
	Table of Contents	目次を提供しているデータベース (Journals@Ovid, Current Contents など) において、対応する目次にリンクします。
	Ovid Full Text	Journals@Ovid 上で購読している電子ジャーナルにリンクします。設定は必要ありません。購読のない場合にはリンクは表示されません。
	Article Review	EBMR を購読している場合、当該レコードに対応する ACP Journal Club, Evidence Based Medicine または DARE のフルテキストにリンクします。
	Topic Review	EBMR を購読している場合、当該レコードを収録しているコクラン・システマティック・レビューにリンクします。
外部リンク	Full Text	外部電子ジャーナル (有料購読および無料提供) にリンクします (有料購読分については要設定)。
	Library Holdings	所属目録 OPAC (Online Public Access Catalog) にリンクし、該当資料の所蔵の有無を確認できます (要設定)。
	Ovid Doc Delivery	登録した文献複写サービスにリンクします (要設定)。
	Bibliographic Link	外部データベースへリンクします (要設定)。
	Internet Resources	インターネット上の有用なサイトにリンクします (要設定)。
	External Link Resolver	外部リゾルバーへリンクします (要設定)。

Search Results 画面:

- 画面右上の「[← Previous Result](#)」「[Next Result →](#)」ボタンで前後のレコードに移動できます。
- 各レコード左側のチェックボックスをマークし、「[Results Manager](#)」を使って、まとめて出力 (印刷・保存・Email 送信) できます。
- 「[Main Search Page](#)」ボタンをクリックすると「基本検索画面」に戻ります。



画面表示・印刷・Email・保存

Results Manager

検索結果の表示画面の最後には「Results Manager」が用意されています。

「Results Manager」で左から右に各オプションを選択します。Actions カラムで Display、Email、Save などを選択すると、実行されます。

< Results Manager 画面 >



1. 「Results」で出力したいレコードを選択します

- 「Selected Results」は、チェックマークしたレコードのみ
- 「All on this page」は、現在画面表示されているレコード(通常は 10 件ずる表示されます)
- 「All in this set」は、現在、表示している集合に含まれる全レコード(この場合は 23 件)
- 「and/or Range:」は、上記に加えて選択したレコードのみ (入力例: 1,3-5)

2. 「Fields」で出力させたいフィールドを選択します

- 「Citation (Title, Author, Source)」は、書誌事項のみ
- 「Citation + Abstract」は、書誌事項と抄録
- 「Citation + Abstract + Subject Headings」は、書誌事項・抄録および統制語(サブジェクト・ヘディング)
- 「Complete Records」は全フィールド
- **SELECT FIELDS** をクリックすると、上記選択肢以外に、出力させたいフィールドを自由に選択できます。チェックマークで選択し、「Continue」ボタンをクリックします。一度選択した Select Fields は LOGOFF するまで有効です。

3. 「Result Format」で出力形式を選択します。





- 「Direct Export」を選択すると、文献管理ソフト(EndNote, Reference Manager, ProCite)へのエクスポートに適した形で出力されます。文献管理ソフトの起動と連動させることもできます。
- 文献管理ソフトを使用しない場合には、通常は Ovid 形式をお使いください。
- 「Include Search History」にチェックマークすると、検索履歴も一緒に出力します。

4. 「Sort」オプションで出力表示の並び替えもできます。

ソートの条件はプルダウンから、昇順・降順で選択します。同時に 2 種類のソートをかけられます。

例: 一次ソートで “Author” を、二次ソートで “date” を指定した => 同一著者のレコードを出版日順に並べ替え

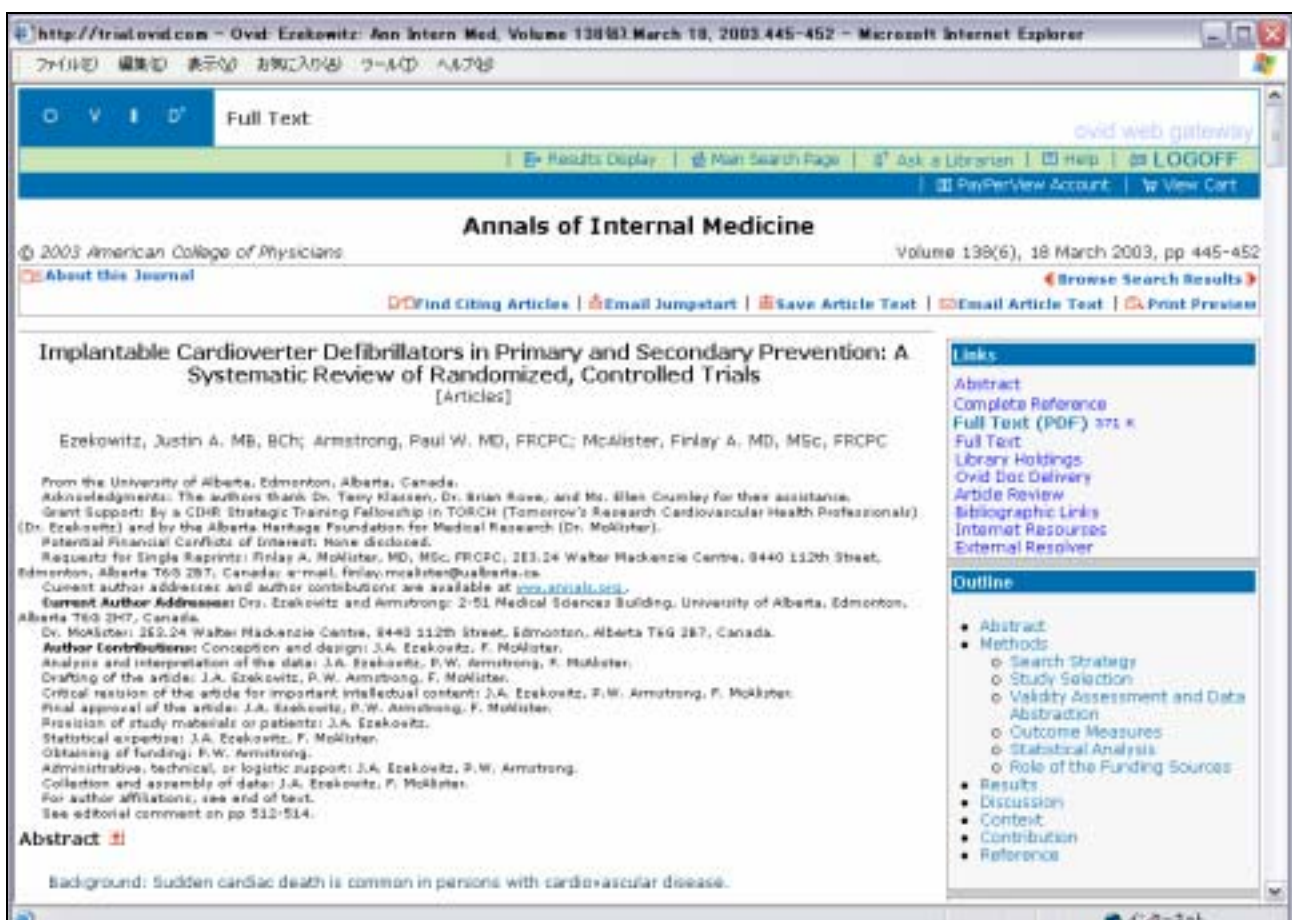
5. 「Actions」で出力します。

- 「 **DISPLAY**」HTML画面が表示されます。
- 「 **PRINT PREVIEW**」印刷用にナビゲーション・ボタン等を消去したHTML画面が表示されます。ブラウザの印刷機能を使って、プリントしてください。
- 「 **EMAIL**」検索結果をE-mailで送信します。E-mailアドレスを入力する画面が開くので、受信Emailアドレスやコメントを入力し「**SEND EMAIL >>**」ボタンをクリックします。複数のアドレスに送信する場合は、カンマで区切って入力します。
- 「 **SAVE**」検索結果をダウンロードします。保存形式を選択する画面が開くので、適切な保存形式を選択し、「ファイルの保存」をおこないます。

Full Text Navigator

フルテキスト(The Cochrane Database of Systematic Reviews, ACP Journal Club, Evidence Based Medicine, Journals@Ovid などのフルテキスト)の出力は、画面上部のナビゲーション・ボタンおよび、画面右側の「Full Text Navigation Box」を、使い分けます。

<フルテキスト表示画面>



http://trial.ovid.com - Ovid: Ezekowitz: Ann Intern Med, Volume 138(6) March 18, 2003:445-452 - Microsoft Internet Explorer

Full Text

Annals of Internal Medicine

© 2003 American College of Physicians Volume 138(6), 18 March 2003, pp 445-452

Implantable Cardioverter Defibrillators in Primary and Secondary Prevention: A Systematic Review of Randomized, Controlled Trials [Articles]

Ezekowitz, Justin A., MB, BCh; Armstrong, Paul W., MD, FRCP; McAlister, Finlay A., MD, MSc, FRCP

From the University of Alberta, Edmonton, Alberta, Canada.
 Acknowledgments: The authors thank Dr. Tamy Klassen, Dr. Brian Rowe, and Mr. Ellen Crumley for their assistance.
 Grant Support: By a CDHR Strategic Training Fellowship in TORCH (Tomorrow's Research Cardiovascular Professionals) (Dr. Ezekowitz) and by the Alberta Heritage Foundation for Medical Research (Dr. McAlister).
 Potential Financial Conflicts of Interest: None disclosed.
 Requests for Single Reprints: Finlay A. McAlister, MD, MSc, FRCP, 2E3.24 Walter Mackenzie Centre, 8440 112th Street, Edmonton, Alberta T6G 2B7, Canada; e-mail: finlay.mcalister@ualberta.ca.
 Current author addresses and author contributions are available at www.annals.org.
 Current Author Addresses: Drs. Ezekowitz and Armstrong: 2-51 Medical Sciences Building, University of Alberta, Edmonton, Alberta T6G 2H7, Canada.
 Dr. McAlister: 2E3.24 Walter Mackenzie Centre, 8440 112th Street, Edmonton, Alberta T6G 2B7, Canada.
 Author Contributions: Conception and design: J.A. Ezekowitz, F. McAlister.
 Analysis and interpretation of the data: J.A. Ezekowitz, P.W. Armstrong, F. McAlister.
 Drafting of the article: J.A. Ezekowitz, P.W. Armstrong, F. McAlister.
 Critical revision of the article for important intellectual content: J.A. Ezekowitz, P.W. Armstrong, F. McAlister.
 Final approval of the article: J.A. Ezekowitz, P.W. Armstrong, F. McAlister.
 Provision of study materials or patients: J.A. Ezekowitz.
 Statistical expertise: J.A. Ezekowitz, F. McAlister.
 Obtaining of funding: P.W. Armstrong.
 Administrative, technical, or logistic support: J.A. Ezekowitz, P.W. Armstrong.
 Collection and assembly of data: J.A. Ezekowitz, F. McAlister.
 For author affiliations, see end of text.
 See editorial comment on pp 512-514.

Abstract

Background: Sudden cardiac death is common in persons with cardiovascular disease.





Links

- Abstract
- Complete Reference
- Full Text (PDF)
- Full Text
- Library Holdings
- Ovid Doc Delivery
- Article Review
- Bibliographic Links
- Internet Resources
- External Resolver

Outline

- Abstract
- Methods
 - Search Strategy
 - Study Selection
 - Validity Assessment and Data Abstraction
 - Outcome Measures
 - Statistical Analysis
 - Role of the Funding Sources
- Results
- Discussion
- Context
- Contribution
- Reference

フルテキストの表示に関するナビゲーション・ボタン

- 「 **Email Jumpstart**」当該フルテキストへのジャンプスタートURLを e-mail で送信します。
- 「 **Save Article Text**」フルテキストをテキスト・ベースでダウンロードします。保存形式を選択する画面が開くので、適切な保存形式を選択し「ファイルの保存」をおこないます。
- 「 **Email Article Text**」フルテキストをテキスト・ベースで E - mail で送信します。E-mail アドレスを入力する画面が開くので、受信 Email アドレスやコメントを入力し「**SEND EMAIL >>**」ボタンをクリックします。複数のアドレスに送信する場合は、カンマで区切って入力します。
- 「 **Print Preview**」印刷用にナビゲーション・ボタン等を消去した HTML 画面が表示されます。ブラウザの印刷機能を使って、プリントしてください。

< Full Text Navigation Box >

「Links」「Outline」「Graphics」「History」で構成されています。



Links

データベースの当該レコードの

Abstract (抄録) や

Complete Reference (全フィールド情報) にリンクします。

「**Full Text (PDF)**」フルテキストの PDF ファイルもここから出力します。

その他の有用な外部情報、

Fulltext (外部電子ジャーナル)

Library Holdings (所蔵目録 OPAC)

Ovid Document Delivery (文献複写サービス)

Bibliographic Links (外部データベース)

Internet resources (インターネット上の有用なリソース)

External Resolver (外部リゾルバー)

にも、ここからリンクします (契約ないし設定されている場合のみ)。

Outline

当該フルテキスト中の任意の箇所 (例: Conclusion や Reference) にジャンプするリンクが用意されています。

Graphics

当該フルテキスト中の図や表にジャンプするリンクが用意されています。

History

今まで閲覧したフルテキストのタイトルが表示されます。もう一度見たいフルテキストがあれば、プルダウンメニューの中から選択し、「Go」ボタンをクリックします。

History プルダウンメニューは、「Table of Contents」画面、「Issue List」画面、「Journal List」画面にも表示されます。ただし検索基本画面「Main Search Page」に戻ると、消失します。

検索式の保存・実行

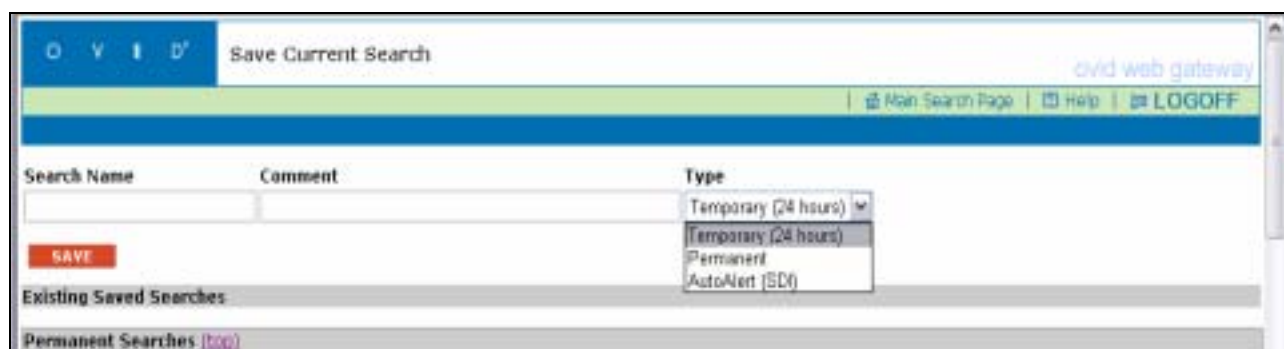
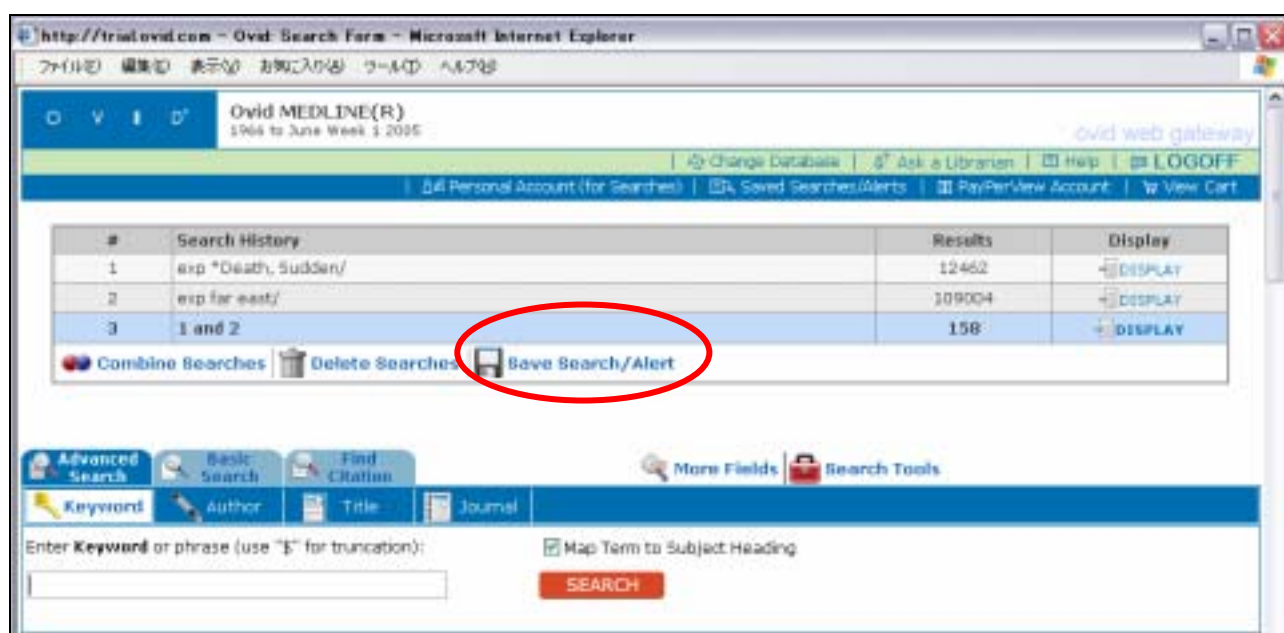
作成した検索式を Ovid のホストサーバに保存することができます。検索を途中で中断する時や、特定のテーマで定期的に検索をする場合など、最初から検索式を入力し直さなくてすむ、便利な機能です。

保存のタイプとしては

- ・Temporarily (24hours)24 時間保存の後、自動的に消去
- ・Permanently 消去するまで、永久保存
- ・AutoAlert (SDI) SDI として保存

の3種類が用意されています。

基本検索画面の検索履歴の下に表示されている「[Save Search /Alert](#)」ボタンをクリックし、適切な保存形式を選んで保存します。



Search Name やコメントは自由に付けられます。

すでに保存されている検索式がある場合は、下部に一覧表示されます。

アカウントを共有している場合には、Search Name やコメントの記載をルール化することをおすすめします。

Personal Account を設定すると、個人の領域に保存をすることもできます。

AutoAlert (SDI) とは

AutoAlert (SDI) は、自動的に保存検索式を実行し、検索結果を e-mail 送信するサービスです。検索式を AutoAlert (SDI) として保存すると、データベースの更新にあわせて、定期的に検索が実行されます。そのデータベースに新しく追加されたデータのみが検索対象になり、常に最新の情報が自動的に E-mail 送信されます。AutoAlert (SDI) として登録した検索式も、他の保存検索式と同じように実行・編集・削除などをおこなうことができます。

Auto Alert(SDI)の登録

検索式の保存タイプを Auto Alert(SDI)とし、Search Name とコメントを記入すると、AutoAlert(SDI)独自の登録画面が開きます。

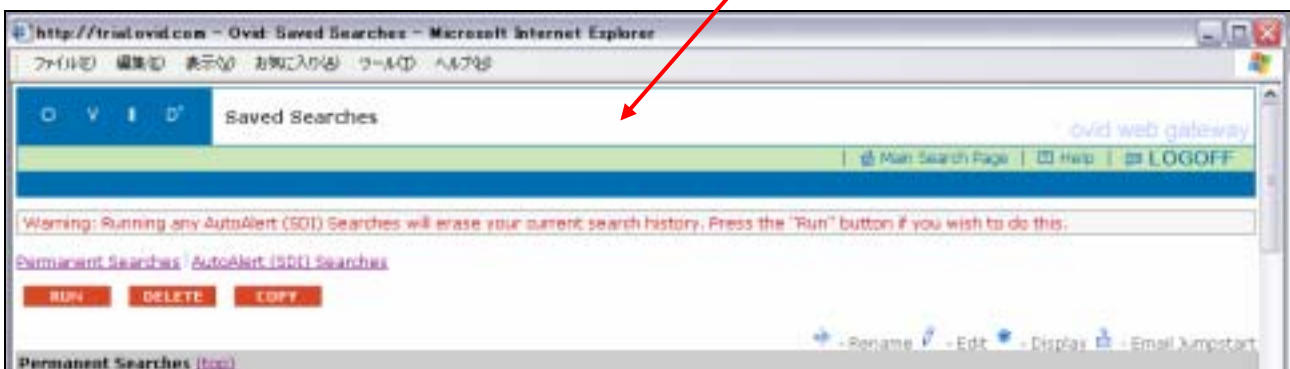
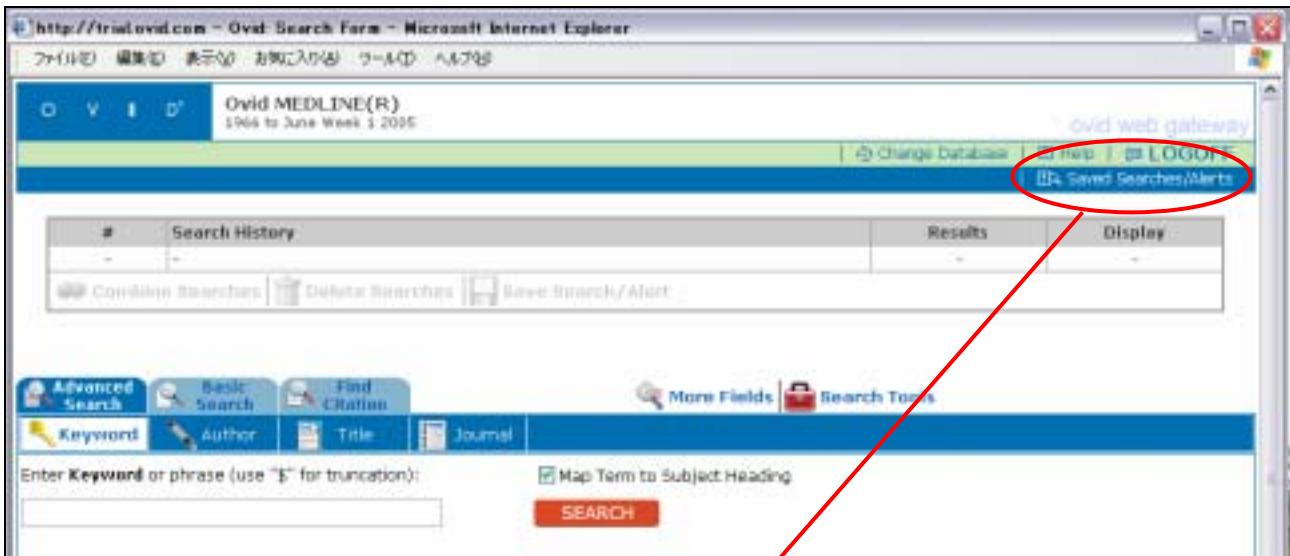
The screenshot shows a web browser window titled "Save Current Search" with the Ovid web gateway logo. The form contains the following elements:

- Search Name:** test140605
- Comment:** Ovid Japan
- Type:** AutoAlert (SDI)
- SAVE:** A red button to save the search.
- AutoAlert Options:**
 - Recipient's Email Address: (empty text box)
 - Email Subject: Ovid Results
- Email Options:**
 - Inline (selected)
 - As an Attachment (Ovid Result Format only)
- Output Type:**
 - HTML (Ovid Result Format only)
 - ASCII (selected)
- Fields:**
 - Citation (Title, Author, Source)
 - Citation + Abstract (selected)
 - Citation + Abstract + Subject Headings
 - Complete Reference
- Result Format:**
 - Ovid (selected)
 - BRS/Tagged
 - Reprint/Medlars
- Sort:**
 - Primary: - Ascending
 - Secondary: - Ascending

- ・ 「**Search Name**」ボックスに保存検索式名を入力します。
- ・ 「**Comment**」ボックスには、検索の内容や目的などのコメントを入れることができます。
- ・ 「Email AutoAlert (SDI) Search Output」の「Recipient's Email Address」(受信 Email アドレス)を入力します。「Email Subject」(Email のタイトル)は、Ovid Results となっていますが、変更することもできます。
- ・ 「Email Options」で、希望する送付オプションを選択します。
- ・ 出力フィールドや形式については、通常の検索・出力と同じように指定します。
- ・ **Save** ボタンをクリックすると、Ovid のホスト・サーバーに検索式が保存されます。
- ・ 保存しない場合には、「[Main Search Page](#)」にもどります。

保存検索式の実行・編集・内容表示・削除

検索式を保存してあると、基本検索画面の右上に「Save Searches/Alerts」ボタンが表示されます。 同アカウントでログインする限り、どの PC からアクセスしても、同じ検索式保存領域にいづくことができます。



<中略>



「Save Searches/Alerts」をクリックすると、現在利用している User ID に登録されている全ての保存検索式を一覧することができ、ここから編集・実行・削除をおこなうことができます。

1. 登録されている保存検索式は、タイプ別に表示されます。
2. 各保存検索式については、画面トップに表示される

RUN 検索式の実行
DELETE 検索式の削除
COPY 検索式のコピー

のボタンのほか、

各保存検索式の右側に表示されるボタンを使って

Rename ...登録名 Search Name の変更

Edit ...編集

Display表示

E-mail jumpstart ... jumpstart URL の e-mail 送信

などを行なうことができます。

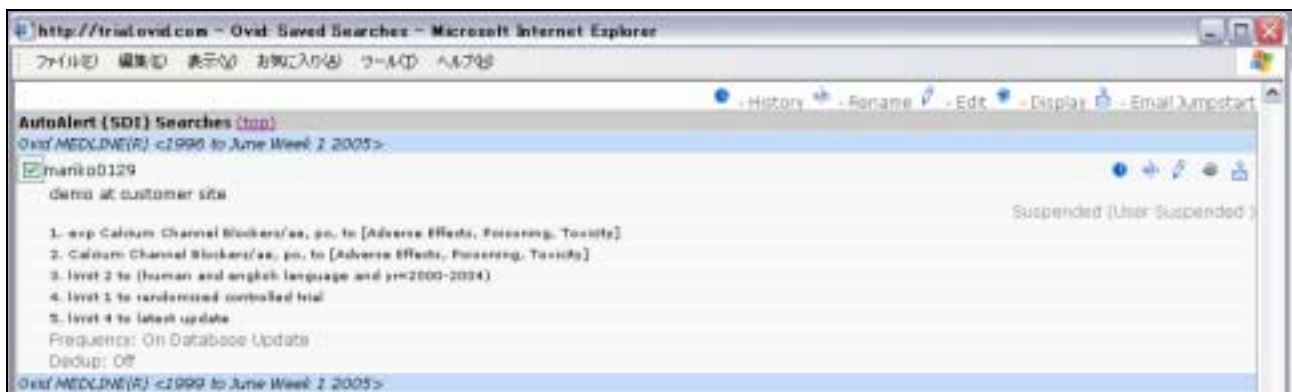
Auto Alert(SDI) については、**History** (過去の実行状況) も表示させることができます。

保存検索式の内容表示・削除

一覧表示された保存検索式から、削除する Search Name をチェックマークします。

「**Display**」をクリックし、保存検索式の内容を表示します。

<Auto Alert(SDI) 保存検索式 mariko0129 の表示画面>



画面上部にある「**DELETE**」ボタンをクリックして、保存検索式を削除します。

注意！: アカウントを共有している場合は、他のユーザーの保存検索式を間違えて消去したり、編集しないように充分ご注意ください。

保存検索式の編集

一覧表示された保存検索式から、削除する Search Name をチェックマークします。

「**Edit**」をクリックし、「保存検索式編集画面」を表示します。



- ・「Comment」を編集できます。
(「Search Name」(保存検索式名)は、Rename ボタンで変更します。)
- ・「Insert」で検索式を挿入します。
- ・「Delete」で検索式を削除します。
- ・「Edit」で検索式を編集します。

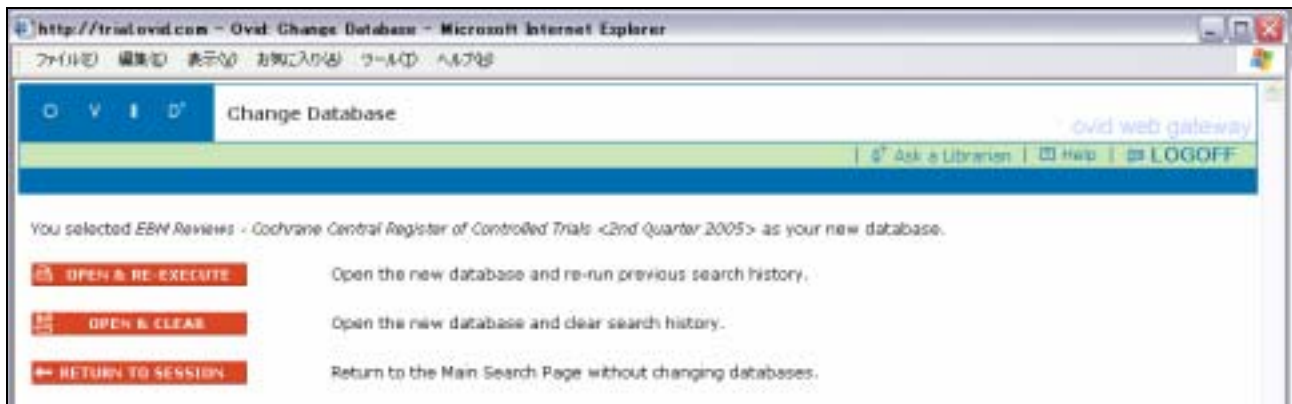
保存検索式の編集では、検索式だけではなく、送付形式や送付オプションなども編集できます。

<保存検索式編集画面: 続き>

編集作業が終了したら、画面上部の「**SAVE**」ボタンをクリックすると編集後の検索式が保存されます。
保存しない場合には、「**CANCEL**」ボタンをクリックします。

データベースの変更

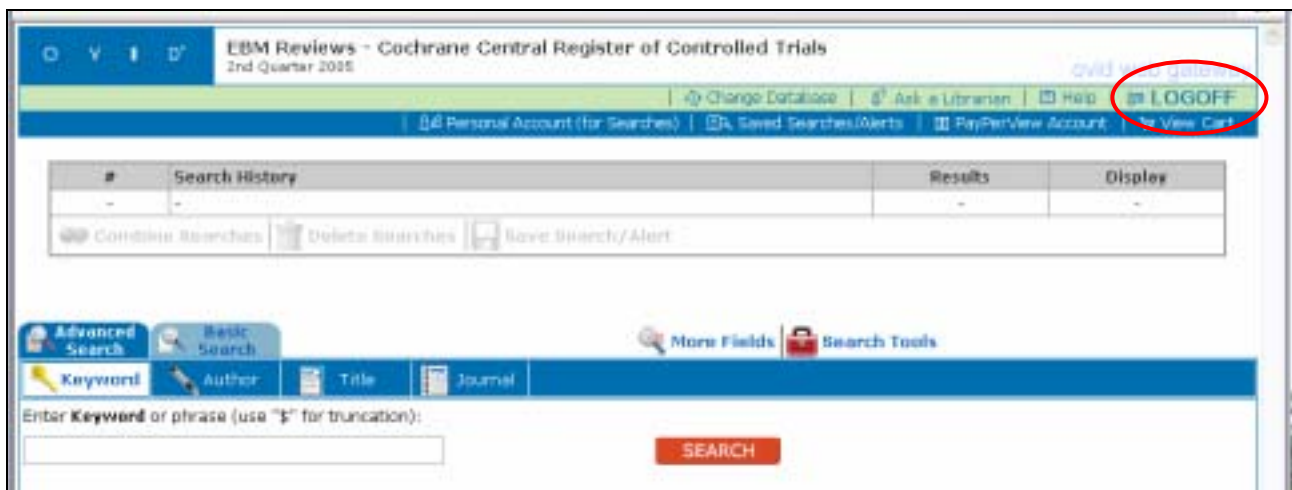
データベースを変更する場合には、基本検索画面の右上にある「[Change Database](#)」ボタンをクリックします。表示されるデータベース選択画面から、データベースを指定すると、次の画面が表示されます。



3種類のオプションが用意されています。

- ・「**OPEN & RE-EXECUTE**」新しいデータベースで、今までに作成した検索式を再実行します。
- ・「**OPEN & CLEAR**」今までの検索履歴を消去し、新しいデータベースで新しい検索をはじめます。
- ・「**RETURN TO SESSION**」データベースの変更を中止し、前のデータベースに戻ります。この場合、それまでに作成した検索履歴はそのまま残っています。

Logoff



検索を終了する時は、必ず基本検索画面その他にあらわれる「**LOGOFF**」ボタンをクリックしてください。

外部リソースへのリンクにより別の画面が開いていても、**LOGOFF** しない限り Ovid Online のライセンスは消費され続けます。

なお、Ovid では、画面操作が 15 分以上おこなわれなかった場合、自動的に Logoff(終了) 状態になります。画面をスクロールして検索結果やフルテキストを閲覧していても、操作をしていることにはならないのでご注意ください。

付録

トランケーションとワイルドカード

前方一致トランケーション	\$	文字数無制限トランケーション	disease\$ = disease, diseases
	\$n	文字数制限トランケーション	dog\$2 = dog, dogs
ワイルドカード	#	変化文字数は 1 文字	wom#n = woman, women
	?	変化文字数は 0 か 1 文字	colo?r =color, colour

ただし前方一致トランケーションとワイルドカードはその前に 2 文字以上の場合にのみ利用できます。「f?etal」で検索すると、“invalid truncation syntax” のメッセージが表示され検索できません。

論理演算子 (掛け合わせ)

検索語を複数掛け合わせることができます。これらの検索語間の関係を規定するのに使用するのが演算子です。

OR	論理和	or で結んだ検索語の少なくともいずれか片方を含むドキュメントを検索します。	heart attack or myocardial infarction 1 or 2 or/1-3
AND	論理積	and で結んだ検索語の両方を共に含むドキュメントを検索します。	blood pressure and stroke 1 and 2 and/1-3
NOT	論理差	not で結んだ 2 つの検索語に対して前置の語が含まれるドキュメントの内、後置の語が含まれないドキュメントを検索します。	health reform not health maintenance organization 1 not health reform 1 not 2

論理演算子 (and or not) の順番は入力順 (左から右) になります。ただしネスティングすると (括弧で囲むと)、括弧内が最優先となります。

位置演算子

ADJ	隣接演算子	2 つ以上の語がスペースで結ばれている場合、システムはスペースを ADJ 演算子とみなします。すなわち入力順で隣接している句として検索します。	blood pressure = blood adj pressure
ADJn	近接演算子	「ADJn」は語順不同で「n」語以内で近接しているドキュメントを検索します。	physician ADJ5 relationship
FRQ	出現頻度演算子	語句の出現頻度を指定して検索できます。	blood pressure.tx./freq=10

コマンド方式の検索テクニック

直接コマンドを入力することによって、アイコンのクリックを省略し時間を消費せずに短時間で検索ができます。

コマンド	機能	コマンド入力例	検索対象
X	mp フィールドから検索	transplantation	transplantation を mp フィールドから検索 ¹⁾
x.yy.	フィールド限定検索	transplantation.ti.	ti フィールド(論題)から transplantaion を検索
x.yy,zz	複数のフィールド限定検索 2 文字のフィールドラベルをカンマでつなげます。	transplantation.ab.ti.	ab フィールド(抄録)と ti フィールド(論題)から transplantation を検索
Root x	索引を表示	root food	全てのフィールドの索引を food から表示
Root x.yy.	フィールドを限定して索引を表示	root food.ti.	ti(論題)索引を food から表示
Root x.zz,yy	複数のフィールドの索引を表示	root food.ab.ti.	ab(抄録)と ti(論題)の food から索引を表示
..l/n yr=x	絞込み(リミット)	..l/3 yr=2001-2002	検索集合 3 番を出版年 2001 年から 2002 年に絞込み
limit n to x	絞込み(リミット)	limit 3 to yr=2001-2002	"
..pg x	検索式の削除	..pg 4	4 番の検索式を削除
..pg x.x.x-x	複数の検索式の削除	..pg 2,5,7-9	2 番、5 番、7 番から 9 番の検索式を削除
..pg all	全ての検索式の削除	..pg all	全ての検索式を削除
..ps	全検索履歴のみの表示	..ps	
..c/x	データベースの変更	..c/mesz	Mesz(MEDLINE 1966+)に変更 ²⁾
use x	データベースの変更	use mexz	"
..e x	保存検索式の実行	..e breast neoplasms	保存検索式名 "breast neoplasms"を実行
..dedup x	マルチファイル検索のデータの重複除去	..dedup 3	検索集合 3 番のデータの重複除去
..sv x	検索式の一次保存	..sv breast neoplasms	保存検索式名"breast neoplasms"を一次保存
..sv ps(x)	検索式の永久保存	..sv ps(breast neoplasms)	保存検索式名"breast neoplasms"を永久保存
..o	オンライン検索終了	..o	
..map xxxx	適確な統制語のリスト表示	..map heart attack	

統制語の検索(シソーラス搭載のデータベースに適用)

Eye/	統制語のディスクリプタ(優先語)検索
Eye/de	サブヘディング(副標目)付きのディスクリプタ(優先語)検索
Eye/de,pa	複数のサブヘディング(副標目)付きのディスクリプタ(優先語)検索
Exp eye	ディスクリプタ(優先語)の下位一括検索
*eye	焦点に絞ったメジャーディスクリプタ検索。
Exp *eye	焦点に絞ったメジャーディスクリプタの下位一括検索
Exp *eye/de,pa	複数のサブヘディング(副標目)付きの焦点に絞ったメジャーディスクリプタの下位一括検索
Ptx eye	順列索引の表示。eye がどこかに含まれる統制語をアルファベット順に表示
tree eye	統制語の階層構造を表示
thes eye	
Scope eye	スコープノート(統制語の説明文)を表示。
sh eye	サブヘディング(副標目)を表示